

- 問1 室町時代から戦国時代にかけての歴史についてまとめられた資料において、加賀（現在の石川県）で「一向一揆」が発生し、信者たちが守護大名を倒して約100年間にわたる自治を実現したと説明されています。この一揆の母体となった、親鸞を宗祖とする仏教宗派を選びなさい。
(2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 浄土宗 2. 浄土真宗 3. 真言宗 4. 日蓮宗
- 問2 15世紀、沖縄本島において尚巴志（しょうはし）が三山を統一して成立した琉球王国の政治・文化の中心地であり、当時の東アジアにおける海上交易の象徴となった場所はどこですか。
(2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 太宰府 2. 首里城 3. 江戸城 4. 安土城
- 問3 室町時代、足利義満が中国の明と行った公式な貿易において、正式な貿易船であることを証明するために「勘合」と呼ばれる札が使われました。この札を使用した主な目的として最も適切なものはどれですか。
(2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 倭寇（海賊）による密貿易と区別するため 2. 朝鮮半島からの輸入品に税を課す基準とするため 3. キリスト教の布教を制限し、貿易を管理するため 4. 幕府の許可を得た朱印船であることを示すため
- 問4 山口県には、西国の大名であった大内氏がある人物に命じて造らせたと伝えられる名園が残されています。この庭園の築造に携わり、当時の文化において大きな影響を与えた人物に関する説明として、最も適切なものはどれですか。
(2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 「唐獅子図屏風」などの豪華で華麗な桃山文化の絵画を多く残した。 2. 墨の濃淡によって遠近感や立体感を表現する水墨画を大成させた。 3. 「わび茶」の作法を確立し、茶の湯を広めた。 4. 東大寺南大門にある力強い金剛力士像を制作した。
- 問5 応仁の乱の後、室町幕府の権威が衰退したことで、実力のある者が上の立場の者を打ち倒して実権を握る社会風潮が強まりました。この風潮を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。
(2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 士農工商 2. 下剋上 3. 大政奉還 4. 尊王攘夷
- 問6 鎌倉幕府が滅亡した後に後醍醐天皇が始めた「建武の新政」の時期、京都の街中には当時の世相を風刺した「二条河原の落書」が掲げられました。この落書の中で、夜討ちや強盗と並んで「流行るもの」として挙げられ、偽の天皇の命令が乱発されている社会の混乱を象徴している言葉は何ですか。
(2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 徳政令 3. 謀略旨 4. 奉書
- 問7 14世紀後半から15世紀にかけて、琉球王国がアジア各地の産物を集め、国際的な貿易拠点として成長できた背景について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島で創られたハングルなどの文字文化を積極的に取り入れ、周辺諸国との外交交渉を有利に進めることができたため。 2. 明（中国）への朝貢を通じて得た中国の産物や、東南アジアの香辛料、日本の刀剣などを互いの地域へ転売する仕組みを築いたため。 3. 江戸幕府から派遣された長崎奉行による管理のもと、出島を通じてオランダや清との独占的な取引を認められていたため。 4. 幕府の将軍の代替わりごとに謝恩使や慶賀使を派遣し、日本国内における貿易の独占権を公式に認められていたため。
- 問8 室町時代、農村では農民たちが自衛や用水の管理、年貢の納入などを共同で行うために団結し、自ら村を運営する組織がつくられました。このような自治的な村の組織を何と呼びますか。
(2015年 山口県公立入試 類似)
1. 株仲間 2. 五人組 3. 惣 4. 座
- 問9 室町時代の農村で形成された自治組織である「惣」が、当時の社会において果たした役割やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 都市の富裕な商工業者である町衆が中心となり、自治を行うために京都などで結成されたが、農村の秩序維持には関与しなかった。 2. 商人が中心となって結成され、同業者による独占的な営業権を幕府から認められる代わりに、税を納めて利益を守った。 3. 有力な農民たちが寄合を開いて村のルールを定め、灌漑用水の管理や年貢の納入を共同で行うなど、自分たちで村を運営した。 4. 鎌倉時代から続く武士である御家人が中心となり、軍役を果たす代わりに土地の支配権を将軍に保証させるための組織として機能した。
- 問10 鎌倉時代から室町時代にかけて、和人とアイヌの人々との間で行われた交易や当時の社会状況について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2023年 長野県公立入試 類似)
1. アイヌの人々との交易を独占するため、幕府は全国に五人組を組織して農民の行動を厳しく制限した。 2. アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産物が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。 3. 西日本を中心に、干害に強い大唐米の栽培や二毛作が広がり、用水路管理のための組織化も進んだ。 4. 交易の対価として日本からは大量の銀が輸出され、アイヌの人々を通じて中国の特産品が大量に輸入された。
- 問11 鎌倉時代から室町時代にかけて、商工業者が結成した「座」と呼ばれる団体について、その特徴を説明した文として正しいものはどれですか。
(2019年 香川県公立入試 類似)
1. 戦国時代に織田信長が商工業を活性化させるために、商人の特権を廃止した政策 2. 公家や寺社などに税を納めることで、営業の独占権や保護を認められた団体 3. 鎌倉時代に地方の特産物を委託販売するために、港に設置された宿泊施設 4. 江戸時代に幕府の許可を得て、問屋や仲買が営業の独占を認められた団体
- 問12 室町幕府が酒屋や土倉といった業者を保護し、特別な権利を与えていた政治的・経済的な背景を説明したものとして適切なものはどれか。
(2026年 長野県公立入試 類似)
1. 海外との貿易を管理するために、これらの業者に全ての輸出入を委託していたから 2. 農業の生産性を向上させるための新しい技術を、これらの業者が独占的に開発していたから 3. 封建的な身分制度を維持するために、武士以外の層が力を持たないよう監視させたから 4. これらの業者から税を徴収することが、幕府にとって極めて重要な収入源となっていたから
- 問13 14世紀末から16世紀にかけて、琉球王国は明（中国）から頻繁に貿易を行う特権を認められていました。この立場を利用し、中国の生糸や陶磁器、日本の刀や扇、さらに東南アジアの象牙や香料などを仕入れ、それぞれの地域へ転売することで大きな利益を上げた貿易の名称を答えなさい。
(2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 中継貿易 2. 南蛮貿易 3. 朱印船貿易 4. 勘合貿易

答え合わせ・解説

問1	答え 2 浄土真宗	鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗（一向宗）は、阿弥陀如来を信じれば誰でも救われると説いたため、武士や農民の間に広く普及しました。加賀国（現在の石川県）では、この宗派の信者たちが「一向一揆」として強固に団結し、1488年に守護の富樫氏を倒して「百姓の持ちたる国」と呼ばれる約100年間の自治を実現しました。これは当時の封建的な支配を否定する画期的な出来事でした。
問2	答え 2 首里城	沖縄では1429年に琉球王国が成立し、その居城は中国や日本の影響を融合させた独自の建築様式を持つ政治の拠点となりました。この場所は、明や朝鮮、東南アジア諸国との活発な交流を支える舞台となりました。
問3	答え 1 倭寇（海賊）による密貿易と区別するため	足利義満は明の皇帝から「日本国王」としての地位を認められ、公式な貿易を開始しました。当時、中国沿岸などで略奪を行っていた倭寇と、幕府が公認した正式な貿易船を明確に見分ける必要があったため、勘合という割符を合わせる仕組みが導入されました。このため、この貿易は勘合貿易（日明貿易）と呼ばれます。
問4	答え 2 墨の濃淡によって遠近感や立体感を表現する水墨画を大成させた。	大内氏は山口を「西の京」と呼ばれるほど文化的な都市に発展させ、そこで活躍したのが雪舟です。雪舟は絵師として有名ですが、山口にある常栄寺などの庭園築造にも関わったとされています。彼が完成させた水墨画は、簡素ながらも奥深い精神性を尊ぶ室町時代の文化を象徴する芸術の一つです。
問5	答え 2 下剋上	長引く応仁の乱によって守護大名が京都に釘付けになったことで、各地では家臣や国人が実力をつけ、主君を圧倒する「下剋上」の動きが加速しました。これにより、日本は各地の戦国大名が領土を争う戦国時代へと突入していきました。
問6	答え 3 謀論旨	建武の新政では、後醍醐天皇による独裁的な政治が行われ、土地の権利などをめぐる訴訟が激増しました。これに対して政治の処理が追いつかず、偽の天皇の命令である「謀論旨（ぼうりんじ）」が横行する事態となりました。二条河原の落書は、このような無秩序な政治や社会不安を皮肉った史料として知られています。
問7	答え 2 明（中国）への朝貢を通じて得た中国の産物や、東南アジアの香辛料、日本の刀剣などを互いの地域へ転売する仕組みを築いたため。	琉球王国は明との朝貢関係（中国の皇帝に貢ぎ物を届ける形式の貿易）を維持しつつ、そこで得た絹織物や陶磁器を日本や朝鮮に運び、逆に東南アジアからは香料や染料、日本からは刀剣や銀などを仕入れて各地へ運ぶ中継貿易を行いました。選択肢にある長崎奉行や幕府への使節派遣（謝恩使・慶賀使）は、17世紀以降の薩摩藩による侵攻後の状況であり、15世紀の繁栄の理由としては不適切です。
問8	答え 3 惣	室町時代に有力な農民（地侍）を中心に結成された農村の自治組織を「惣（または惣村）」と呼びます。それまでの荘園領主による一方的な支配に対し、村人たちが団結して用水の管理や警察権の行使、入会地（共有地）の管理などを自律的に行うようになりました。選択肢にある「座」は商工業者の同業者団体、「株仲間」は江戸時代の商業組織、「五人組」は江戸時代の年貢納入などの連帯責任制度を指します。
問9	答え 3 有力な農民たちが寄合を開いて村のルールを定め、灌漑用水の管理や年貢の納入を共同で行うなど、自分たちで村を運営した。	室町時代には農業技術の向上によって農民の経済力が向上し、地位が高まりました。その結果、有力な農民（地侍など）が中心となり、村の重要な決定を下す「寄合」を通じて、領主の支配に頼らずに村を維持・運営する「惣」という自治組織が生まれました。商人の組織は「座」、都市の商工業者による自治組織は「町衆」と呼ばれ、これらは惣とは異なる目的や背景で組織されたものです。
問10	答え 2 アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産物が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。	中世において、北海道を中心に独自の文化を築いていたアイヌの人々は、和人と盛んに交易を行いました。アイヌ側からは鮭、昆布、アザラシなどの毛皮といった北方の豊かな特産品が提供され、これらは和人の商船などによって京都をはじめとする各地へ運ばれ、当時の人々の食生活や文化を支える重要な役割を果たしました。
問11	答え 2 公家や寺社などに税を納めることで、営業の独占権や保護を認められた団体	鎌倉・室町時代の商工業者は、特定の公家や寺社（本所）に税を納めることで、その見返りとして商売の独占権を得たり、関所の通行税を免除されたりするなどの保護を受けました。江戸時代に幕府の公認を得た「株仲間」や、信長が行った「楽市・楽座」と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 4 これらの業者から税を徴収することが、幕府にとって極めて重要な収入源となっていたから	室町幕府は当初、直轄領からの収入が乏しかったため、都市で経済力をつけた酒屋や土倉に注目しました。彼らに営業上の特権を与える見返りとして、継続的に税（酒屋役・倉役）を納めさせることで、幕府の運営資金を確保する仕組みを作りました。
問13	答え 1 中継貿易	琉球王国は、地理的に日本、中国、東南アジアの接点に位置していたことに加え、明から「1年または2年に1回」という極めて高い頻度で貿易を行う許可を得ていました。この特権を活かして、各地の特産品を別の地域へ運んで売買する役割を担いました。